

平成 22 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	特定種別には I、II、III、IV類を入力
II類	I類 1500kL未満の事業所のみを複数有し、合算で1500kL以上となる特定事業者 II類 1500kL以上の事業所を1つ以上有する特定事業者 III類 3年連続して1500kL以上の事業所を1つ以上有する特定事業者 IV類 (任意) 1500kL未満の事業所のみを有し、合算して1500kL未満となる事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	協栄流通株式会社
所在地	所沢市大字城1番地の1
事業者番号	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	4,024
店舗面積 (該当する場合)	
産業分類名 (中分類)	運輸に付帯するサービス業
分類番号 (中分類)	48
事業活動の概要 (事業内容、従業員数、資本金等)	宅配物流商品の仕分け 従業員数1,116人 '09/07現在 資本金 485,000,000 円
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)	

(3) 地球温暖化対策推進者（事業者で1人以上）

所属部署	電話番号
本社 総合MS推進担当	04-2945-3671

(4) 県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号 ※初回提出時に県で付与	事業所名	前年度のエネルギー 原油換算使用量(kL)
単独で1500kL以上の事業所		
	坂之下要冷集品センター	1,548
1500kL未満の事業所の合算		
	城グロサリー集品センター・桶川要冷集品センター	2,476
合計		4,024

(5) 公表方法

インターネット利用による公表	アドレス	http://www.kyoei-ryutsu.co.jp/
埼玉県内の事業者又は事業所での 備え置き (複数可 書ききれない場合は別 様としてください)	閲覧場所 1	本社（城グロサリー集品センター2階）
	所在地 1	所沢市大字城1番地の1
	閲覧可能 時間 1	月曜日～金曜日10:00～17:00 年末年始は不可
	閲覧場所 2	
	所在地 2	
	閲覧可能 時間 2	
その他		

(6) 公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス
1 本社 総合MS推進担当	04-2945-3671	04-2945-3676	akira_sugaya@coopnet.or.jp
2 本社 広報・編集担当	04-2945-3671	04-2945-3676	takatoshi_toda@coopnet.or.jp
3			

2 地球温暖化対策推進における基本方針 ※事業所ごとに定める場合は、事業所用に記載する旨を記載

- ・環境保全の推進
地球温暖化防止自主行動計画の実践などを通じて、地球環境保全に貢献します。
- ・環境管理計画
コープネット経営方針の5 社会的責任環境保全の推進を具体化するために著しい環境側面を定めて、環境目的を設定し実施計画で達成手段を実施します。

3 地球温暖化対策における推進体制 ※事業所ごとに定める場合は、事業所用に記載する旨を記載

別紙に添付

4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
エネルギー起源CO ₂					
非エネルギー起源CO ₂	-	-	-	-	-
その他温室効果ガス	-	-	-	-	-

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

様式第4号（第8条関係）

地球温暖化対策推進者選任・解任届出書

2010年 7月30日

（あて先）

埼玉県知事

届出者

埼玉県所沢市大字城1番地の1
名称 協栄流通(株) 代表取締役社長
黒崎 昭男

個人事業者にあつては、住所
及び氏名（自署又は記名押印）

電話番号04-2945-3671

地球温暖化対策推進者を選任・解任したので、埼玉県地球温暖化対策推進条例第16条第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

	所 属 部 署 職 名	氏 名	電 話 番 号	選 任 ・ 解 任 年 月 日
選 任	本社 総合MS推進担当	菅谷 彰	04-2945-3671	2010/7/30
選 任	坂之下要冷集品 センター センター長	貴田 克彦	04-2945-8580	2010/7/30
解 任				

経営方針

コープネットグループの理念「CO・OP ともに はぐくむ くらしと未来」及び「ビジョン」を実現するため、以下の5つの方針に基づき、中期計画や年度目標を設定して取り組みます。

すすめるにあたっては、法規制・社会規範及びその精神を順守し、高い倫理観と志をもって公正かつ透明、正直な事業活動を行います。

マネジメントの仕組みの有効性を継続的に改善するため、定期的に見直しを行います。

この方針は、全職員に周知するとともに、一般に公表します。

1. 経営・財務目標の達成

コープデリ宅配事業の成長と損益の確保、店舗事業の黒字構造を確立します。

2. 顧客満足の向上

「安全・安心」、「おいしい」、「安い」、「健康」、「楽しい」、「便利」そして「社会とのつながり」という7つの価値を実現することで、満足の向上を目指します。

3. 業務プロセスの改善と向上

7つの価値実現に向け、商品・サービスの提供にいたるそれぞれの過程で、業務の統一・改善・改革に取り組み、効率・効果を向上させる活動を推進します。

4. 人と組織づくりによる成長と革新

行動指針の浸透を図り、組織風土の改革を進めます。事業分野ごとに、変化に対応していきける戦略的人材の確保・育成に努めます。業務組織の統合、日生協との機能統合、事業連合間連帯を推進します。

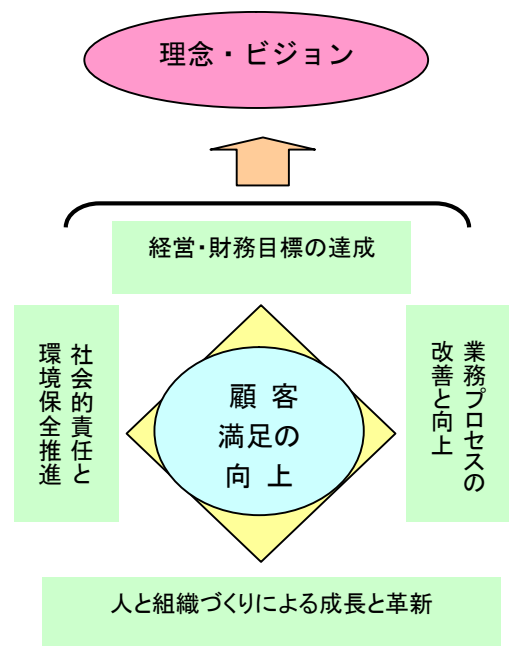
5. 社会的責任・環境保全の推進

食の安全システム、人的・経済的たすけあい・社会還元、地域のネットワークづくりを推進します。汚染の予防に取り組み、環境配慮商品の開発・普及や地球温暖化防止自主行動計画の実践などを通じて、地球環境保全に貢献します。

2008年4月21日



いはらきコープ	コープとうきょう
とちぎコープ	コープながの
コープぐんま	コープにいがた
ちばコープ	コープネット事業連合
さいたまコープ	



協栄流通株式会社
地球温暖化対策推進体制図

代表取締役社長
黒崎 昭男

エネルギー管理統括者
専務取締役 神立 浩

地球温暖化対策推進者
菅谷 彰

坂之下要冷集品センター

地球温暖化対策推進者
貴田 克彦

従業員

B事業所

桶川要冷集品センター

従業員

A事業所

城グロサリー集品センター

従業員

A事業所

環境管理計画書《目的》

2020年3月20日までの中期的目標

【部門名:協栄流通】

管理責任者:神立

2010/3/21版

方針	著しい環境側面	環境目的(2010年度～2012年度)	実施計画(達成手段)	2010年度	2011年度	2012年度	実施者	実施責任者		
地球温暖化対策を主体に持続可能な社会の発展に貢献する活動	業務車両燃料の消費	個配車両の燃費向上	<ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップの励行 ・車間距離プラス1メートル 余裕を持った運転推進 ・エコドライブの実践(急発信・急加速の防止) ・車両の日常点検の強化 	継続	継続	継続	配達担当者	個配事業所長		
	電力の消費	<ul style="list-style-type: none"> ・監視システム(要冷施設)を構築し使用量を減らしCO2削減に努めます。 ・グロサリーセンターは日常維持管理 ・本社等の事務部署は空調・照明の日常維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・DMS(デマントマネジメントサービス)の活用 	継続	継続	継続	該当集品センター担当者	該当事業所長		
			<ul style="list-style-type: none"> ・空調の適温管理(夏27℃以上、冬22℃以下) 	継続(夏強化月間あり)	継続(夏強化月間あり)	継続(夏強化月間あり)			全員	事業所長
			<ul style="list-style-type: none"> ・照明不使用時の点灯OFF 	継続	継続	継続				
			<ul style="list-style-type: none"> ・MIXペーパー、ごみなどの分別徹底 	継続	継続	継続	全員	事業所長		
	紙ごみの廃棄(可燃物の廃棄)	日常の管理を徹底し分別強化	<ul style="list-style-type: none"> ・MIXペーパー、ごみなどの分別徹底 	継続	継続	継続	全員	事業所長		
	不燃ごみの廃棄	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の管理を徹底し分別強化 ・廃棄シッパーの削減推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・内袋、ストレッチフィルムなど分別徹底 	継続	継続	継続	全集品センター	事業所長		
<ul style="list-style-type: none"> ・洗浄機導入をはかり汚れシッパーの廃棄量削減 			継続	継続	継続	要冷集品センター	該当事業所長			
改正省エネ法の対応・第1種エネルギー指定工場・特定荷主・特定輸送事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・定期報告、削減計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期報告に必要なデータ収集と集計 ・第2週の部長会で環境データについてまとめて報告し必要な対応を検討し実践する 	継続	継続	継続	総合MS推進担当	専務取締役			